

子どもと教育大切にす 都政への転換を



発行所
東京都千代田区二番町12-1
エデュカス東京(全国教育文化会館)
東京都教職員組合
電話(3230)3891
編集発行人
山崎 忠彦
1部15円(郵送料別)
組合員の購読料は組合費に含む

ホームページ
http://www.tokyouso.jp/
E-mail:tokyoso@zenkyo.org

全教職員
討議資料



60周年記念集会ぞう列車合唱団 (2008年10月4日)

東京都議会議員選挙は、七月三日(金)告示、七月十二日(日)投票です。子どもと教育をめぐる激しいせめぎあいの中の選挙です。五月二十七日の都議会文教委員会で、「東京で三十人学級実現の実施を求める請願」が、自民オール与党の反対で不採択になりました。「東京の子どもと教育・教職員を守れ」、都民・職員犠牲の石原都政への怒りと切実な声を反映する都議会へと転換させましょう。

都議選で示そう
都政への厳しい審判を

雇用、くらし、
福祉・教育、
平和をまもる、
温かい政治を！

大企業による「派遣切り」など雇用破壊が日本社会の大問題になっていきます。財界と自民党政治が一体となってきた「構造改革」路線の破綻により、貧困と格差が拡大し、国民に塗炭の苦しみを強いています。その下で「子どもの貧困」は深刻化し、子どもたちの安心と成長の場である家庭と地域を破壊し、進路を閉ざし、希望を奪っています。国民の悪政に対する怒りは激しく、政治を変えたいという国民の思いはかつてなく高まっています。

この十年、「あの憲法を認めない」と言っただけからない石原都知事とそれを都議会から推進する与党は一体となって、トップダウンの「教育改革」・強権的な管理統制で

人公の政治への流れを切り開く絶好のチャンスです。子どもと教育を守り都民の願いを実現する大きなチャンスです。

都議選をめぐる情勢と争点

石原都政十年、いま都民・職員犠牲のトップダウン事業は次々と行き詰まり、破綻し、都民との矛盾が激化しています。

石原都政は、「東京から日本を変える」と叫び、財界・国がすすめる「構造改革」の先頭に立って大型開発優先、教育・福祉切り捨ての悪政を

推進してきました。教育予算も減らし、都民の強い願いである三十人学級(少人数学級)は、全国で東京だけが実施しない異常な事態を続け、憲法違反の「日の丸・君が代」の強制を強権的にすすめる、改悪教育基本法の先取り具体化、管理統制の教員政策を強行してきています。その結果教育現場は、教育の条理に反して子どもも教職員も競わされ、苦しむ、悲鳴に近い叫びの音があがっています。

同時に今都議選の結果は、総選挙と国政に大きな影響を与えます。国民が主人公の政治の流れをつくる選挙です。



30人学級実現署名集約集会 (2008年12月5日)

十人学級署名二十四万筆に示された「どの子ども大切にす教育」であり、「日の丸・君が代」の強制・処分に反対する都民世論に示された「憲法を生かす教育」です。石原都政・都教委は都民の願いに背いています。

七月の都議選は、地方自治体として本来都がやるべき暮らし・教育・福祉を切り捨ててきた石原都政に対してとってきた各党の態度に都民が審判を下す選挙です。

《実現求める都教組の都議選要求》

- ①憲法を守り、都政のすみずみまで生かして、どの子ども大切にすのゆきことい東の教育の実現を
- ②三十人学級の一日も早い実現を
- ③不況と貧困から子どもを守れ、就学援助の拡大、都立高校の定員増・授業料引き下げ、私学助成の増額を
- ④改悪教育基本法の具体化反対、トップダウンの「競争と強制の教育改革」ストップ
- ⑤分断と管理統制の教職員政策の転換を
- ⑥教職員定数増、持時数軽減を
- ⑦教職員の長時間過密労働解消、いのちを守れ
- ⑧「日の丸・君が代」の強制と処分を許すな